

2 町民が町に愛着を持ち、PRできるようにすることで、新しいひとの流れをつくる ④「いい塩梅のまち」池田山を活用した体験交流ツアーの実施

アイデア工房参加のメンバー、町職員の当初10名で取り組んできた。その後、旅行会社(株)JTB中部社やIT技術を搭載した電動アシストつき自転車を全国の観光地で事業展開する(株)ドコモ・バイクシェア社、ボランティアガイド養成講座に知見のある広告代理店など委託業者に加え、池田町内お茶販売組合の若手数名の協力のもと、「①観光客需要調査及びツアー造成計画策定」、「②ツアーガイド育成」、「③PR事業」、「④モニターツアー実施」の4事業を実施した。



●KPI

- ・体験交流ツアーの設定数：2016年3月 1プログラム ⇒ 平成28年度に設定する
- ・育成したガイド数：2016年3月 10人 ⇒ 2016年3月 19人

●実施内容、進捗状況

・観光客需要調査及びツアー造成計画策定

2015年12月、町民200件、県外450件ほどを対象に池田町のイメージや観光スポットなど観光需要に関するアンケートを実施、集計分析中。

また、JTBの観光案内誌「るるぶ」の池田町特別版を製作中。池田町の観光スポットやお店の紹介、モデルコースの提案、さらには歴史あるお茶の町池田のPRなど池田町の魅力を詰め込んだ冊子として、3月下旬に全戸配布予定。

・ツアーガイド育成

「池田町体験交流ツアー・ボランティアガイド養成講座」を2月13日(土)、2月19日(金)、2月28日(日)、3月6日(日)に開催。参加者19名。講師は、岐阜女子大学教授丸山幸太郎氏、西尾市観光協会専務理事 榎原正幸氏。

講座では、池田町内にある文化財や史跡を学んだほか、旅行者の興味を引く話し方やガイドとしての心構えを聴講。さらにグループごとに策定した観光コースをお互いに発表して評価を行ったり、実際にコースを廻ってガイドとしての実地研修を行う。



・PR事業

池田町の空撮、レンタサイクルによる池田町のPR動画を作成し、今後youtubeに掲載する予定。また、観光スポットを説明する自動音声ガイドを観光スポットに設置。

・モニターツアー実施

GPS機能を搭載した電動アシストつき自転車により、2つのモデルコース(山コース・町コース)を設定、モニターツアー実施。80名が定員のところ78名応募。2月27日(土)、2月28日(日)、3月5日(土)、3月6日(日)実施。池田町指定文化財の他、道の駅、お茶販売店、池田温泉などでの消費動向を探るとともに、お茶工場でのお茶揉み体験など、今後の体験交流型ツアーの検証を行う。



●今後に向けた課題

- ・電動アシスト付き自転車の管理や体験交流ツアーの受付、観光案内業務などを行う組織・団体の設置、運営体制について具体的な方針を決める必要がある。
- ・従来の史跡案内だけでなく、池田恒興など池田町に関係する歴史人と池田町のお茶の関わりや池田山麓のお茶畑の景色などをもっとPRするとともに、お茶摘み・揉み・淹れ方などお茶の産地ならではの体験交流型ツアーを企画して魅力的な観光コースに育てていき、参加費などお金が落ちて継続的なツアーとなるよう仕掛けていく。